



小児健診の目的

子供たちの眼科検診の目的について説明します。最も重要な目的はずばり「**弱視**」を**予防**するということです。弱視というのは、器質的な病気がないのに、視力が矯正（メガネ）しても1.0未満の状態です。

弱視の実に84%のお子さんは片眼性になります。原因として不同視と斜視が大きな部分を占めます。片眼性の問題点は日常生活で片方が見えているために支障が出にくく、**周囲の大人が気づきにくい**ことです。

弱視の多くは治療により、防ぐことが可能です。しかしそのタイミングが重要で、視機能が発達する時期を逃すと効果がなくなってしまいます。

その中で3歳児健診は、弱視発見のためのとても大事な時期になります。その頃になると視力検査ができるようになるからです。3歳半になると90%以上のお子さんと視力検査が可能となります。そのタイミングで弱視が発見されれば、治療の効果が期待できる時期となります。

花粉飛散量予測

春の花粉症飛散量の予測の第一報が日本気象協会から発表されております。花粉の量は前年夏の気候に影響をうけるようです。**2021年は2020年と比較すると多い**ようですが、例年よりは少ないようです。飛散時期は2月初旬頃から徐々に本格的になってきます。毎年、花粉症に苦しむ方は1月中旬頃からの抗アレルギー薬の服用が、症状のピークを下げ、効果的となります。ご相談ください。

千代田区の花粉飛散量(スギ+ヒノキ)



鬼滅の刃

当院スタッフ、視能訓練士の長利さんが折り紙でキャラクターを作ってくれました!(^^)!